

周術期輸液の考えかた

－何を・どれだけ・どの速さ－

丸山一男 著

南江堂／2005 190ページ 3,500円(税別)



本書は、研修を始めたころの医師や看護師を対象に輸液の考えかたを解説した本である。しかし、その前段階の医学科・看護学科の学生諸君にもわかるように書いたつもりである。また、筆者は、共通教育で、「急病の見方」という講義を開講している関係で、医療系方々以外が読んでも分かるように、イラストや図表を多用し、皆様のお役に立てるよう輸液について解説した。医療関係者以外は点滴をされる側であり、する側でないが、輸液の考えかたを知ることは有益であろう。なお周術期とは、手術前後の時期を包括的に表わした用語であるが、簡単に言うと、「けがの前後」と考えていただければよい。発行以来、約1年で、第3刷目に入っている。

〈丸山一男／所属：大学院医学系研究科 病態解明医学講座麻酔集中治療学〉

戦場論 上

小牧・長久手の戦いの構造

戦場論 下

近世成立期の大規模戦争

藤田達生 編

岩田書院／2006

戦場論 上：440ページ 8,900円(税別)

戦場論 下：400ページ 7,900円(税別)



本書の研究基盤は、織豊期(しよくほうき)研究会(事務局三重大学教育学部日本史研究室、会員300名、URL: <http://133.67.82.117/frame.html>)である。当研究会は、1995年に結成して以来、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康ゆかりの東海地域から、なぜ近世権力が誕生したのかという問題を、史料輪読会(月例会)や報告会(年4回)を通じて一貫して追究してきた。筆者が研究代表者となって当研究会の構成員を中心とする30名の第一線の研究者を組織しておこなったのが、天正12年(1584)の小牧・長久手の戦いを研究対象とした科学研究費基盤研究A(1)「近世成立期の大規模戦争と幕藩体制一占領・国分・仕置の視点から」(2000～2003年度)である。本書は、この研究報告書を再構成したものである。

〈藤田達生／所属：教育学部 社会科学教育歴史学〉

2005年12月～2006年5月

三重大学の主な出来事

(三重大学広報誌「Flash News」より)

詳しい情報を知りたい方は、
下記アドレスのページをご覧ください。

<http://www.mie-u.ac.jp/home/flash/index.html>

第32号

- 三重県と「災害対策相互協力協定」締結
- 「三重大学東京オフィスの開所式」を挙行
- 「環境ISO14001」の認証取得に向けて
- 「三重大学アジア・パシフィックにおける食糧戦略センター(仮称)」に向けた勉強会
- 医学部長表彰
- 教育学部主催・防犯講習会
- 第3回外部評価を実施
- 国際交流サロンで映画会
- 2005フォーラム・オン・キャンパス
- 附属図書館で留学生対象「図書館ツアーとネットワークPC利用ガイダンス」を実施
- タイ津波調査

第33号

- 平成18年の年頭にあって～有言実行～
- 「再開元年」
- APAN国際会議に参加
- 「現代GP招待講演会、学生活動発表会」開催
- 教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止講演会
- 調べ学習にピッタリ! 公開講義で「バスマフィンダー入門講座」実施
- 附属養護学校でコンサート開催
- シンポジウム須賀利
- 研究科長並びに学部長選出

第34号

- 環境ISO認証取得キックオフ大会
- 富士電機リテイルシステムズ(株)と産学連携推進に関する包括協定を締結
- 国際治験ネットの核として始動
- 生協創立35周年
- 「青少年のための科学の祭典」第3回三重大学大会
- 平成17年度第2回「県との定期懇談会」
- 「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒発表会」開催される
- 平成18年度キャンパス・インキュベータ入居者決定
- 附属中1年生が第5回全国中学生作文コンクールで最優秀賞

第35号

- 株式会社百五銀行および株式会社百五経済研究所ならびに日本政策投資銀行との産学連携に関する包括協定を締結
- 「高等教育創造開発センター」開所式挙行
- 豊田章一郎氏来学
- 国際シンポジウム「フロリダ大学における教育改善支援体制の確立と運用」
- 「三重大学と放送大学間の単位互換モデル構築の覚書」(平成18年度)に調印
- 「三重大学COEプロジェクト」中間成果発表会開催
- JAグループ三重と連携協定締結
- 流通情報システム展示会「RETAIL TECH JAPAN」(AggriGate)に参加
- 「個人情報保護に関する講演会」開催
- 「平成17年度後期業務改善活動報告会」開催

第36号

- チーム制の導入
- 河南省および鄭州大学を訪問
- 学長が1日郵便局長に
- 新監事ご紹介
- 「附属病院基本設計業者の特定!」
- 工学研究科に「社会連携講座」創設される
- 「平成17年度三重大学教育GP成果報告会」
- 地域中小企業問題解決型MOT(Management of Technology)教育プログラム「修了式」
- 第3回天津師範大学短期語学研修&文化交流
- 平成18年度新任教員研修・附属図書館から

第37号

- 平成18年度科学研究費補助金採択状況
- チェンマイ大学学長が来訪
- 附属小学校にてスクイーク・ワークショップが開催
- 「評価者研修」と「人事評価説明会」を開催
- BIO2006に三重大学が出席
- 「三重県メカトロ・ロボット研究会」発足、「設立記念講演会」開催
- 人文学部と南伊勢町間で相互連携協力協定に調印
- 「第1回大学教育カフェ」開催
- 平成18年度生物資源学部渡邊文二奨学生が決定
- 「テネイン-C」測定試薬キットの開発
- 「ニュークリンジルスプレー」開発

編集後記

法人化も正念場となる3年目に突入しました。全国的に「理科離れ」は深刻で、医学部を除く理系学部の入学試験倍率はクリティカルゾーンに近づいてきました。このような背景の元三重大学の理系3学部は、地域に貢献できる理系人材育成のための効果的な教育研究体制を目指して、大学院に軸足をおく部局化に踏み切りました。本号を通して、三重大学が意図する大学院を基点とする教育・研究体制への理解が深まることを期待しています。

[発行]
三重大学広報委員会

三重大学総務部広報チーム
つし(り)ま(ち)や(ら)の
〒514-8507 津市築真町屋町 1577番地
TEL 059-231-9789 FAX 059-231-9000

<http://www.mie-u.ac.jp/koho@mie-u.ac.jp>

本誌掲載の文章・記事・写真等の
無断転載はお断りします。
印刷・製本 株式会社 三見社